

アプローチカリキュラムの自園化までの手順

新潟市立あじほ保育園

1. 作成メンバー

園長・主任・5歳児担任

2. 作成手順

- ① 園内研修で、アプローチカリキュラムの理解を深める。
- ② 保育所保育指針の「育ってほしい10の姿」の読み合せによる理解
- ③ 「アプローチカリキュラム」を参考にし、5歳児の「育っている所」「もう少し育てたい所」など、実態や課題を出し合い、育てていくためには、どのような活動や経験をさせていくか今後、具体的にどう取り組むかという事を話し合う。
- ④ 全体的な計画（保育課程）・年間指導計画・月間案日指導計画を「新潟市の重点」にあてはめ、3色に色分けをする。
- ⑤ 保育園の特色を踏まえアプローチカリキュラムを作成する。

3. 作成してみて

作成する前は、不安や大変さを感じていたが、実際アプローチカリキュラムの重点内容は変えずに、時期や期間を保育園の実状に合わせて変更したので、思っていたよりも負担はなかった。色付けをした事で、今後の計画の立て方など気づくことができた。アプローチカリキュラムを参考に、5歳児の姿を話し合い、育って欲しい姿を意識し、今後の課題など具体的な活動や遊びを考え取り組むことができた。